

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年二月度 入選句 (投稿総数三千百十句・小中学投句数二千六百五十五句)

### 特選

ふくわらいほっぺと口がかさなつた 大垣市 岸本 芹奈(小二)

お正月には家族で楽しむ遊びが色々あります。ふくわらいやすごろく、かるたや少しむずかしい百人一首などもありますね。なかでもふくわらいは目かくしをするので大人でもなかなかむずかしいですね。目と目がはなれたり、鼻がまがつたりととても楽しいあそびです。作者の場合は赤いほっぺと大きく笑つた口がかさなつたのはゆかいですね。家族の笑い声の句の中から聞こえてきそうです。

初雪にみんなが窓にかぶりつく 大垣市 日比 大起(中三)

いつもより何だか冷えるなあと思ひ窓の外に目をやると雪がちらついている。誰かが雪だと言うとかラスの皆が次々と窓にかぶりつくようにして外の景色にみとれている。初めての雪がクラスの皆の心を一瞬ひとつにしたような暖かさを感じます。学年末の少し淋しい気持ちも伝わってきます。

元旦に新聞届く重き音 大垣市 廣木 三莉(中三)

元旦には新聞受けに入りきらない程のぶ厚い新聞と広告が入ってきます。新聞配達の人も大変です。

どのページを見ても派手なカラー刷りで新年を祝っています。ドンと届くわりには全ページはなかなか読みませんね。いつもはじっくりと新聞を読むお父さんもお正月ばかりは、お節料理と年酒にごきげんです。作者は受験生でしょうか。何か気になるページはありましたか。

### 秀逸

たこ上げて走り続ける一本道 大垣市 後藤 幸太郎(小六)

あけたいなちらりとのぞくふくぶくろ 大垣市 河本 えいせい(小二)

だんだんと頭近づくかるたとり 大垣市 齋藤 優衣(小六)

勉強にあきあきしておる十五歳 美濃加茂市 天池 拓海(中三)

光さし奥まであたる冬至の日 大垣市 河村 綾乃(中三)

雪積もり大口開けて笑う君 大垣市 中里 友佳(中三)

寒い朝ふとんの中でアルマジロ 大垣市 澤 さくら(小四)

こたつ中みんなの足とねこの足 大垣市 安藤 光希(小六)

アスファルトひびのすきまに咲く新芽 大垣市 木村 妃咲樂(小六)

校門の桜が六度咲き卒業 大垣市 森田 悠斗(小六)

入選

かるたとりふだがとおくてとどかない 大垣市 秋吉 桃歌(小四)  
 カリカリとはしる緊張せまる受験 美濃加茂市 伊藤 遥華(中三)  
 書き初めよ灰となつて高く舞え 美濃加茂市 尾石 歩霞(中三)  
 初詣合格祈願の大行列 美濃加茂市 片田 雄大(中三)  
 初雪がつめたい中であまいキス 大垣市 三輪 桃香(中三)  
 降り積もる君への思いこんこんと 大垣市 坂 遼馬(中三)  
 手を止めて窓から見入るオリオン座 大垣市 藤井 仁志(中三)  
 はばたけと語ってくれる白鳥ら 大垣市 大月 美咲(中三)  
 初日の出受験の不安に光さす 大垣市 村堀 楓夏(中三)  
 まさかの展開面接おちて雪が降る 大垣市 津谷 幸治郎(中三)

入選

大晦日天使とあくまささやいた 大垣市 田邊 諒太(中三)  
 空高く今年の目標たこにのせ 大垣市 杉山 雪菜(中三)  
 冬の池氷のしたに小魚だ 大垣市 折戸 悠輝(小四)  
 ひとつもじもずれてはいけない書初だ 大垣市 横川 大河(小四)  
 ひな人形すましたかおでどこ見てる 大垣市 池井戸 絢(小四)  
 豆まいてにげる姿はお父さん 大垣市 茂木 颯馬(小六)  
 つばめがねおえないくらいはやいんだ 大垣市 さえき こうじ(小二)  
 節分の豆の数すごいおじいちゃん 大垣市 川瀬 桃愛(小六)  
 てのひらにはく息白く赤い顔 大垣市 木村 妃咲樂(小六)  
 じよやのかねしずかな夜にひびいてる 大垣市 市川 莉緒(小三)

選者吟

元朝やグーグルアースに子を探す

よちゑ